

事業所情報（保育所）

（平成30年10月 1日現在）

<u>施設名</u> 富山市立西田地方保育所

1 基本情報

<u>所在地</u> ： 〒939-8202 富山市西田地方町二丁目10-30	
<u>TEL</u> ： 076-421-7481	<u>ホームページ</u> ： 有
<u>FAX</u> ： 076-421-7481	<u>E-Mail</u> ： nisidenjihku-01@city.toyama.lg.jp
<u>交通手段</u> ： 富山地方鉄道路線バス 西田地方二丁目バス停より、徒歩1分	
<u>開設年月</u> ： 昭和24年10月3日	<u>開所時間</u> ： 午前7時から午後7時
<u>敷地面積</u> ： 5,803 m ²	<u>建物面積</u> ： 1,843 m ²
<u>経営主体</u> ： 富山市	<u>設置主体</u> ： 富山市
<u>施設長名(所長、園長)</u> ： 北川 由美子	

2 職員体制

<u>施設長</u> ： 1名	<u>保育士</u> ： 39名	<u>保健師・看護師</u> ： 2名
<u>栄養士</u> ： 0名	<u>調理員</u> ： 7名	<u>医師</u> ： 2名（嘱託医）
<u>事務員</u> ： 0名	<u>その他</u> ： 2名 (用務員1名) (保育助手1名)	<u>計</u> ： 51名

3 保育所の方針

<ul style="list-style-type: none">・家庭的な雰囲気の中、一人一人をゆったりと受け止め、生きていくための力を養い、その子に合った援助をする。・育児と仕事の両立支援及び子育て支援を目指し、地域のニーズを把握し、様々な保育サービスの提供をする。

4 サービス内容

対象地域	富山市						
対象年齢	0歳児（生後8週）～5歳児						
入所定員	220名						
入所児童	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	17	38	53	46	45	39	238
居室数・内容	保育室10						

サービス名	有 無	具体的な内容（利用時間、詳細料金など）
乳児保育	有	・生後8週より
障害児保育	有	・障害のない乳幼児との統合保育を行っている。 ・富山市の事業として、障害児通所指導事業をしている。保育所に未入所の障害を持つ幼児を対象に、保護者同伴で週1～2回午前2時間程無料で保育体験や個別指導を行っている。（現在、当保育所では利用者無し）
延長保育	有	7:00～19:00 開所の当保育所では ・保育標準時間の場合：（夕）18:00～19:00…月額5,000円または1回300円 ・保育短時間の場合：（朝）7:00～8:30…月額5,000円または1回300円 （夕）16:30～18:00…月額5,000円または1回300円 （夕）18:00～19:00…月額5,000円または1回300円 ※徴収については、日額制（1回300円）又は月額制5,000円の選択ができる。
夜間保育	無	
休日保育	無	
病児保育	有	体調不良児対応型の病児保育をしている。
一時預かり	有	利用日…月～金 実施時間…8:30～16:30 対象年齢…生後6か月以上 利用料金…1日3,000円 4時間1,500円+食事代200円
地域子育て支援拠点事業	有	・親子サークル年30回 ・子育て支援室（未就園児が保護者と共に来所し、保育施設で遊ぶ）

健康管理	保健活動…身体計測(月1回)・年間午睡(3歳未満児) 夏季午睡(3歳以上児) 健診・検査…内科健診・歯科健診・視力測定(3歳以上 年2回) 尿検査(年1回) しらみ検査(月1回)
食事	・3歳未満児は完全給食 ・3歳以上児は副食給食(週1回米飯給食) ・離乳食 ・アレルギー対応食 ・体調に合わせた配慮食 ・保護者を招き、食を通したふれあい給食会(年1回) ・子育て支援会食(親子サークルに通う1歳6か月以上の親子でアレルギーがなく、普通食の子)(年1回)
休日	日曜日 祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
地域との交流	・南部中学校14歳の挑戦及び保育ボランティアに来所・キャリア教育実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・西田地方小学校1年生との交通安全教室 ・夏祭りに小学生招待 ・一人暮らしのお年寄りの集いに参加 ・校下敬老会参加 ・特別養護老人ホーム訪問 ・地域子育てサークルとの交流 ・民生委員と遠足、お楽しみ会 ・絵本読み聞かせボランティア ・シニア保育サポーター ・コンサートに招待
保護者会活動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全らいちょうクラブ ・夏祭り ・ベルマーク収集

5 サービス利用のために

利用申し込み方法	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市こども支援課及び各行政センター窓口にて申し込みをする。 ・就労状況による保育の必要量の認定申請書と入所申込書が必要となる。 ・入所希望保育所は第三希望まで記入する。
申請窓口開設時間	<ul style="list-style-type: none"> ・午前8時30分～午後5時15分まで
申請時注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・申請認定については、保育の利用を必要とする理由があること ① 就労等 ② 妊娠・出産 ③ 疾病・障害 ④ 介護等 ⑤ 災害復旧 ⑥ 求職活動 ⑦ 就学 ⑧ 虐待・DV ⑨ その他 ・申請は入所希望月の2か月前にすること
入所相談	<ul style="list-style-type: none"> ・随時富山市こども支援課・各行政センター窓口・各保育所
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育料 市町村民税額で算定する。(富山市が保有する税務情報をもとに算定) ② その他 延長保育料金、入所準備教材費、保護者会費等、重要事項説明書に記載している。
食事代金	<ul style="list-style-type: none"> ・保育料に含まれる。
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 保育所長・副所長が苦情解決責任者及び苦情受付担当者となり、苦情解決にあたる。 ② 保育所において解決に至らなかった場合、富山市保育所苦情解決処理要項第5条の規定に基づいて富山市より委託された第三者委員により、苦情の解決をはかる。
その他情報提供資料	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所のしおり ・保育所等入所のご案内 ・富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室のご案内 ・富山市子育て支援ガイドブック ・富山市保育料徴収額表 ・はっぴーママ ・はれるといいね(子育て公園マップ) ・その他 地域のイベント情報、市の子育て支援情報

6 施設の公開、実習生・ボランティアの受け入れ

施設の公開・見学	実習生の受け入れ	ボランティアの受け入れ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士・幼稚園教諭等育成学部学生（高岡第一学園・富山国際大学等） ・ 看護専門学校実習生（富山赤十字看護専門学校等） ・ 南部中学校2年生（社会に学ぶ14歳の挑戦） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シニア保育サポーター（教材作り、雑巾かがり等） ・ 民生委員（遠足、園外保育付添い等） ・ 絵本読み聞かせ ・ グリーンキーパー（花壇作り等） ・ アコーディオン演奏会 ・ 南部中学校1～3年有志（子どもと遊ぶ）

7 その他特記事項

- ・ 保育所は市道神通町蛭川線沿いにあり、富山市中心部からも近く、交通の便利な場所にある。保育所の近くには南部中学校、西田地方小学校、裁判所等がある。また、県や富山大学の官舎もあり、子育てや教育に熱心な地域である。
- ・ 地域の交通安全協会や防犯協会の方々が、保護者を対象に保育所駐車場出入り口の安全の見守りをしたり、車の鍵かけ等の啓発をしたりする催しを年2回実施している。
- ・ 道路沿いに建っている保育所の前に細長く花壇があり、バス停前には園庭にある畑が見える。歩道を通る方々が四季の花々や、畑の作物を眺めることができる。通りがかりの人と、花や野菜の育て方等の話をしたり、近くにある富山大学の農場の方や地域の方から、いろいろな花や野菜の苗をいただくこともある。また、グリーンキーパーの方々も花壇作りを手伝ってくださる。28年度から毎年花壇コンクールで賞をいただいております、30年度は富山県花のまちづくりコンクール最優秀賞、富山市花いっぱいコンクール最優秀賞をいただいた。通りがかりに保育所の花壇を眺めるのを楽しみにしておられる方が多い。
- ・ 園庭の畑では、年長児が中心となって野菜作りをしている。収穫した野菜は子ども達が皮むきやすじ取り等をし、全児が給食でいただくことで、食材に関心を持てるよう食育活動もしている。
- ・ 民生児童委員の方々が、遠足等の行事に参加され、子ども達の世話をしてくださる。年間で5回程、自分達でメンバーを決め、子ども達と関わるのを楽しみに参加される。民生児童委員の中には、放課後児童健全育成事業に関わっている方もおられ、修了児の様子を聞かせてもらったり、相談を受けたりすることもあり連携を取り合っている。
- ・ 地域の方が月1回土曜日に、絵本の読み聞かせに来られる。これは長年継続して行っており、土曜保育の楽しみとなっている。
- ・ 保育所での生活の様子、保育士や友達との関わりの様子を見て体験してもらえよう、給食参加と保育参加をしている。我が子だけでなく他の子どもと一緒に遊んだり、保育士体験をしてもらったりすることで、子どもの新たな発見につながっている。
- ・ 代替調理員派遣事業をしている。保育所調理員が特別休暇及び通院等で休暇をとるため、調理員の派遣依頼があった時は、当保育所調理員が依頼先保育所へ出向いている。

派遣先の保育所と事前打ち合わせをし、安心・安全な給食の提供に努めている。

- ・隣にある南部中学校から14歳の挑戦、生徒会保育ボランティア活動の受け入れをし、中学生と子ども達が触れ合う機会がある。また、キャリア教育事業として、保育士が中学校に出向き、保育士の仕事や魅力について話し、保育士という職業を紹介する事業を毎年継続して行っている
- ・看護師が配置されており、保育中に体調不良になった子どもは、保護者の迎えがあるまで看護師と共に病児室で過ごしている。看護師は体調管理や怪我の手当、与薬管理をしている。また、感染症が出た時には消毒の徹底をしたり、子ども達に手の洗い方、歯磨き等の衛生指導も行っている。保育士を対象に、嘔吐や下痢の処理についてデモンストレーションを行っている。保護者から子どもの健康相談を受けることもある。
- ・保護者の都合により、子どもを家庭で保育できない場合に、一時的に子どもを預かる一時保育を行っている。その子に応じた年齢のクラスに入って、一時保育担当保育士と一緒に過ごしている。
- ・平成32年度から、富山市立から社会福祉法人富山国際学園福祉会に移管する。